

- 問1 1900年前後の日本の文化史において、歴史的背景とその時期に流行した文芸思潮の関係について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2016年 愛媛県公立入試 類似)
- 第一次世界大戦の開戦後、徹底的に現実を写し取ろうとする自然主義がロマン主義に代わって台頭し、個性を否定した。
 - 日清戦争の直後、文明開化への反動から江戸時代の戯作文学を復興させる動きが主流となった。
 - 日露戦争前後の時期、国家の発展とともに個人の自我が目覚め、個性を重んじるロマン主義が広がった。
 - 明治維新の直後、欧米の思想を拒絶するために、日本独自の精神性を追求するプロレタリア文学が生まれた。
- 問2 1914年に始まり1918年に終結した第一次世界大戦を中心とした時期の年表において、その大戦終結よりも前の時期に発生した出来事として、最も適切なものはどれですか。
(2026年 山形県公立入試 類似)
- 連合国側が戦後の国際秩序の指針として大西洋憲章を発表した。
 - 日本が韓国を併合し、植民地支配を開始した。
 - 日本軍が南満州鉄道の爆破事件を機に満州事変を引き起こした。
 - ニューヨークの株価暴落をきっかけに世界恐慌が発生した。
- 問3 1894年に陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した後、1911年に外務大臣の小村寿太郎がアメリカとの交渉によって実現した、日本が輸入品に対して課す税の割合を自国で決定できる権利の回復を何というか。
(2026年 栃木県公立入試 類似)
- 最恵国待遇の獲得
 - 関税自主権の回復
 - 治外法権の承認
 - 領事裁判権の撤廃
- 問4 明治維新後の政治体制が整えられていく過程において、1868年に天皇が神に誓う形式で発表され、公議世論の尊重や開国和親など新政府の基本方針を示した文書を何といいますか。
(2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- 教育勅語
 - 大日本帝国憲法
 - 民選議院設立の建白書
 - 五箇条の御誓文
- 問5 明治時代、政府が欧米の文明を積極的に取り入れる一方で、なぜフェノロサと岡倉天心による日本美術の復興運動が必要とされたのか。その背景と目的を説明する文として最も適切なものはどれか。
(2021年 熊本県公立入試 類似)
- 極端な西洋化への反動から、日本の伝統的な美の価値を理論的に再定義し、国宝の保護や美術教育を通じて民族の誇りを取り戻すため。
 - 土族の商法を救済するため、衰退していた漆器や陶磁器などの伝統工芸品を「日本美術」としてブランド化し、外貨を獲得するため。
 - 西洋画の技法が日本の風土に合わないことが判明したため、江戸時代の浮世絵を唯一の正当な美術として復活させるため。
 - 自由民権運動の高まりに対し、日本独自の伝統的な道德観を国民に植え付けることで、政府への忠誠心を高める手段とするため。
- 問6 明治時代初期に行われた、憲法の制定や国会の開設を求めた政治運動と、その運動家たちが理想としたフランスの歴史的出来事や文書の組み合わせとして、正しいものはどれですか。
(2022年 熊本県公立入試 類似)
- 尊王攘夷運動と権利の章典
 - 護憲運動とアメリカ独立宣言
 - 自由民権運動とフランス人権宣言
 - 大正デモクラシーとワイマール憲法
- 問7 明治時代における政党の結成について、その背景と内容を説明した文として最も適切なものを選びなさい。
(2021年 新潟県公立入試 類似)
- 国会開設の勅諭により10年後の国会開設が約束されたため、板垣退助を党首とする自由党が結成された。
 - 廃藩置県によって失業した士族を救済するため、明治政府が板垣退助を党首に据えて自由党を結成させた。
 - 大政奉還の直後、徳川慶喜を中心とする士族たちが政権を奪還するために自由党を結成した。
 - 日露戦争の講和条約に反対する国民が、板垣退助をリーダーとして自由党を結成した。
- 問8 1911年に制定された工場法の具体的な内容と、その背景にある当時の日本の労働環境の説明として、最も適切なものはどれですか。
(2017年 千葉県公立入試 類似)
- 深夜まで及ぶ長時間労働や年少者の就業を制限し、製糸業などで働く女性や子供の健康を保護しようとした。
 - 農村の貧困を救うため、工場で働くすべての労働者に対して、国が最低限の賃金を支払うことを義務づけた。
 - 労働者に団結権や団体交渉権を認め、労働組合を結成して経営者に対等に交渉することを奨励した。
 - 社会主義思想の広がりを抑えるため、労働運動を指導する人物を厳しく取り締まることを目的とした。
- 問9 1885年と1907年の日本の貿易統計を比較すると、1880年代半ばには綿糸が輸入総額の約17%を占めていましたが、1900年代後半には原料である綿花が輸入の2割以上を占めるようになり、逆に綿糸や綿織物が輸出されるという変化が見られます。このような貿易構造の変化が起きた主な背景として正しい説明を選んでください。
(2026年 岡山県公立入試 類似)
- 製糸業の衰退によって生糸の輸出が止まり、それに代わる新たな輸出産業として砂糖の製造が主力となったため
 - 軍事力の強化を目的に、欧米諸国から最新の綿織物機械を輸入する代わりに大量の生糸を輸入し始めたため
 - 産業革命の進展により国内の紡績業が発達し、安価な原料を輸入して加工製品を輸出する形態が確立されたため
 - 政府が綿花の自給自足を進めるために、輸入された綿糸に高い関税をかけて国内の綿花栽培を奨励したため
- 問10 19世紀末の日本における外交史について述べた次の文のうち、1894年に調印された日英通商航海条約に関連する説明として最も適切なものを選択してください。
(2024年 新潟県公立入試 類似)
- 伊藤博文が初代の内閣総理大臣として、ドイツの憲法を参考にしながら不平等条約のすべてを撤廃した。
 - ノルマントン号事件をきっかけに国民の不満が高まり、小村寿太郎が関税自主権を回復させた。
 - 日清戦争の開戦直前のタイミングで、陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した。
 - 岩倉具視を特命全権大使とする使節団が、欧米諸国との直接交渉で即座に改正を実現した。
- 問11 三国干渉において、ロシア・ドイツ・フランスの3カ国が日本に対して遼東半島の返還を求めた際、彼らが主張した表向きの理由として最も適切なものはどれですか。
(2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- 日本がその地域を領有することは、東洋の平和を乱すおそれがあるから
 - 日本がイギリスと同盟を結び、清を完全に支配しようとしていたから
 - 下関条約で定められた賠償金の額が、清の支払い能力を超えていたから
 - 遼東半島は古来よりロシアの租借地であり、日本の領有は不当だから
- 問12 明治政府が長年の課題としていた不平等条約の改正について、1894年にイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、領事裁判権（治外法権）の撤廃を実現させた外務大臣は誰ですか。
(2026年 高知県公立入試 類似)
- 陸奥宗光
 - 伊藤博文
 - 岩倉具視
 - 小村寿太郎

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日露戦争前後の時期、国家の発展とともに個人の自我が目覚め、個性を重んじるロマン主義が広がった。	日本の近代化が進み、日露戦争という国家的な試験を経験する中で、人々の間には「個としての人間」を見つめ直す意識が芽生えました。1900年前後の年表に位置づけられるこの時期は、個性を尊重するロマン主義が最も華やかに展開された時代です。その後、より現実を厳しく見つめる自然主義へと文芸の主流は移り変わっていきます。
問2	答え 2 日本が韓国を併合し、植民地支配を開始した。	日本による韓国併合は1910年に行われました。これは第一次世界大戦（1914年～1918年）が始まるよりも前の出来事です。世界恐慌は1929年、満州事変は1931年、大西洋憲章の発表は1941年であり、これらはいずれも第一次世界大戦終結よりも後に起こった事象です。
問3	答え 2 関税自主権の回復	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は悲願でした。1894年に陸奥宗光が領事裁判権（治外法権）の撤廃を実現させた後、1911年に小村寿太郎が日米通商航海条約を調印することで、自国の産業を保護するために重要な「関税を自主的に決める権利」を完全に取り戻しました。これにより、日本は法権と税権の両面で欧米諸国と対等な立場になりました。
問4	答え 4 五箇条の御誓文	明治新政府が発足した直後の1868年に出された方針です。旧来の因習を打破し、広く知識を世界に求めることや、合議によって物事を決定することを宣言しました。これはその後の近代化に向けた改革の出発点となりました。
問5	答え 1 極端な西洋化への反動から、日本の伝統的な美の価値を理論的に再定義し、国宝の保護や美術教育を通じて民族の誇りを取り戻すため。	明治初期の「文明開化」は、日本の古いものを否定し、西洋のものを模倣する傾向が強くなりました。フェノロサたちは、日本の伝統美術が西洋の芸術に劣らない高い精神性と技術を持っていることを説きました。この運動は、日本人が自国の文化に対して自信を取り戻し、独自の近代文化を形成する契機となりました。
問6	答え 3 自由民権運動とフランス人権宣言	明治時代、板垣退助や中江兆民らが中心となって展開した自由民権運動は、フランス革命の精神に強く影響を受けていました。中江兆民は「東洋のルソー」と呼ばれ、フランス人権宣言の根底にある思想を広めることで、専制的な政府を批判し民主的な政治の実現を訴えました。
問7	答え 1 国会開設の勅諭により10年後の国会開設が約束されたため、板垣退助を党首とする自由党が結成された。	1881年に発生した「明治十四年の政変」の際、政府は10年後に国会を開設することを約束する「国会開設の勅諭」を出しました。これを受け、民権派は実際の議会運営に向けて組織を整える必要が生じ、日本初の本格的な政党である自由党が誕生しました。
問8	答え 1 深夜まで及ぶ長時間労働や年少者の就業を制限し、製糸業などで働く女性や子供の健康を保護しようとした。	日清・日露戦争を経て日本の資本主義が急速に発展する一方、工場では低賃金かつ長時間にわたる「過酷な労働」が続いていました。特に将来の国民の健康を損なう恐れがあるとして、次世代を担う年少者や女性の労働条件を緩和することが急務となり、この法律が制定されました。施行までに時間がかかったり、適用除外があったりと課題はありましたが、労働条件に公的な制限を加えた点に歴史的意義があります。
問9	答え 3 産業革命の進展により国内の紡績業が発達し、安価な原料を輸入して加工製品を輸出する形態が確立されたため	明治時代、大阪紡績会社の成功などをきっかけに日本の紡績業は飛躍的な発展を遂げました。この産業革命の進展により、それまで輸入に頼っていた綿糸を国内で大量生産できるようになり、1890年代には綿糸の輸出量が輸入量を上回りました。その結果、貿易の形態は「製品（綿糸）を輸入する」形から、「原料（綿花）を輸入して製品（綿糸・綿織物）を輸出する」という加工貿易の構造へと変化しました。選択肢にある「生糸の輸入」や「砂糖の輸出」は当時の日本の状況とは矛盾する内容です。
問10	答え 3 日清戦争の開戦直前のタイミングで、陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した。	不平等条約の改正交渉は、岩倉具視や井上馨らによって進められてきましたが、当初は難航していました。しかし、日本の近代化が進み、法整備が整ったことや国際情勢の変化を背景に、1894年に陸奥宗光がイギリスとの交渉をまとめました。これは日清戦争が始まる直前の出来事であり、日本の国際的地位が向上する大きな一歩となりました。岩倉具視の使節団は交渉の端緒を探るものであり、即座の改正には至っていません。
問11	答え 1 日本がその地域を領有することは、東洋の平和を乱すおそれがあるから	ロシア、ドイツ、フランスの3国は、日本に対して「遼東半島を日本が持つことは、清の首都である北京を脅かし、東洋の平和を妨げるものだ」と主張して圧力をかけました。しかし、真の目的は日本の勢力拡大を抑え、自国が中国大陆での利権を得ることにありました。実際、この後ロシアは遼東半島の旅順や大連を租借するなど、中国への進出を加速させました。
問12	答え 1 陸奥宗光	幕末に結ばれた不平等条約には、外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁くことができない領事裁判権の容認が含まれていました。外務大臣を務めた陸奥宗光は、東アジア情勢の変化を背景にイギリスとの交渉を有利に進め、日清戦争が始まる直前の1894年に、この権利の撤廃を含む条約改正を成功させました。